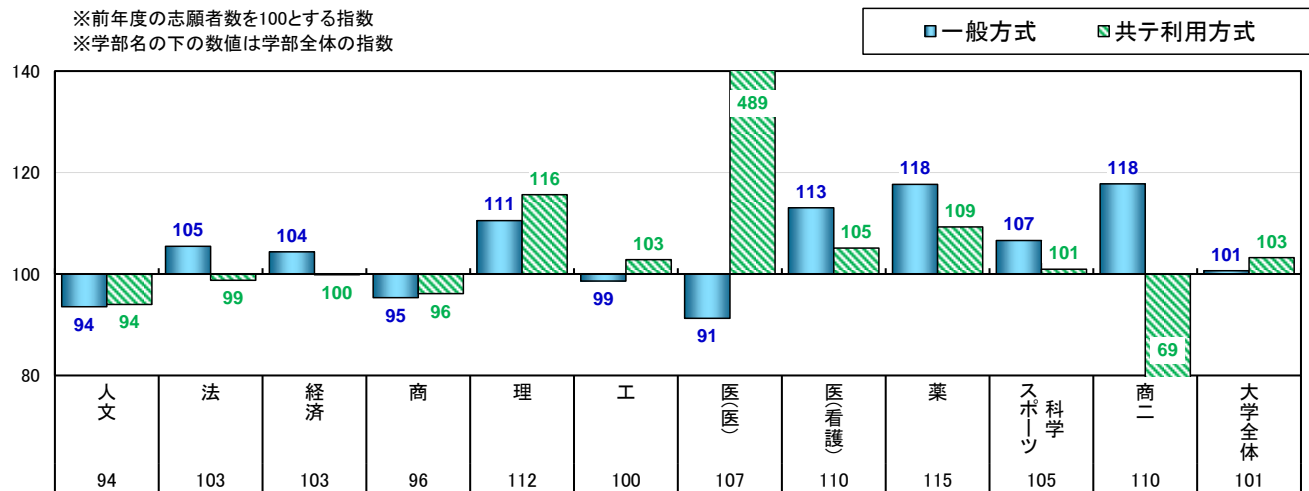


福岡大：大学全体では微増だが2年ぶりに増加

一般：+189人 共テ：+458人



主な入試変更点 選抜方法：医(医)〈共テ・III期〉→医(医)〈共テ・I期〉 ※コロナ禍対策による実施日程変更を2020年度以前に戻した。
入試科目：薬〈共テ併用・前期〉…〈共テ〉理+(国 or 外)、〈個〉数+外→〈共テ〉数+理+(国 or 外)、〈個〉数+(理 or 外)
〈共テ・II期〉…数2+理+外→数2+理+(国 or 外)
募集人員：薬…〈一般・前期〉120人→112人、〈一般・後期〉…10人→8人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数
大学全体では、647人(101)の微増、前年度の大幅減少の反動はなく、商二を除いても(101)の微増。商二を除く学部(医は学科)別では、10学部(医は学科)中8学部(医は学科)が増加したが、志願者数は2年連続で45,000人を下回った。方式別では、一般方式は、189人(101)の微増で前年度減少の反動はなかった。共通テスト利用方式は、458人(103)のやや増加で前年度大幅減少の反動は小さかった。共通テスト受験前に出願締切となる〈共テ・I期〉(116)は大幅増加、〈共テ併用・前期〉(103)は増加。共通テスト受験後に出願可能なくII期〉(90)は共通テストの平均点ダウンの影響から減少。

〈一般方式〉
○人文(94)は、やや減少で2年連続減少。学科別では、8学科中5学科が減少。特に、(フランス語)(58)、(東アジア地域言語)(72)、(英語)(83)は大幅減少。一方で、(ドイツ語)(133)、(日本語日本語)(115)は大幅増加。
○法(105)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。学科別では、(経営法)(117)は前年度大幅減少の反動で大幅増加だが、志願者数は1,100人には届かなかった。(法律)(101)は前年度大幅減少の反動はなく微増に留まった。
○経済(104)は、やや増加で3年ぶりに増加。学科別では、(産業経済)(117)は前年度減少の反動で大幅増加。(経済)(100)は15人の微減だが4年連続減少。
○商(95)は、やや減少で2年連続減少。志願者数は3年ぶりに5,000人を下回った。学科・プログラム別では、4募集単位中3募集単位が増加。特に、(経営/会計専門職プログラム)(125)の大幅増加で3年連続増加が目立った。一方で、(経営)(80)は2年連続増加の反動で大幅減少。
○理(111)は、前年度減少の反動で増加。学科・インスティテュート別では、7募集単位中6募集単位が増加。特に(地球圏科学)(121)、(化)(119)がいずれも大幅増加。一方で、(物理科学)(98)が唯一減少だがわずか7人の微減。
○工(99)は、微減だが2年連続減少。学科別では、増減が各3学科ずつに分かれた。(社会デザイン工)(114)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(電子情報工)(92)は前年度増加の反動で減少。(建築)(93)はやや減少で2年連続減少。
○医(医)(91)は、減少で3年連続減少。志願倍率も、36.0倍→32.8倍にダウン。
○医(看護)(113)は、3年連続減少の反動で増加だが、志願者数は700人台に留まった。
○薬(118)は、系統への人気もあり大幅増加で9年ぶりに増加に転じた。募集人員が10人(7%)減少したこともあり、志願倍率は、8.7倍→11.0倍にアップ。
○スポーツ科学(107)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。学科別では、(健康運動科学)(135)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(スポーツ科学)(94)はやや減少で2年連続減少。

〈共通テスト利用方式〉
○人文(94)は、前年度大幅減少に引き続きやや減少。学科別では、8学科中6学科が減少。特に、(東アジア地域言語)(62)、(フランス語)(63)は大幅減少。一方で、(ドイツ語)(135)、(日本語日本語)(124)は大幅増加
○法(99)は、前年度の大幅減少に引き続き、微減だが2年連続減少。学科別では、前年度は2学科のいずれも大幅減少だった反動はなく、(法律)(98)は微減、(経営法)(101)は微増に留まった。
○経済(100)は、3人の微減だが3年連続減少。学科別では、(産業経済)(123)は2年連続減少の反動で大幅増加。(経済)(93)はやや減少で3年連続減少。志願者数は5年ぶりに1,500人を下回った。
○商(96)は、前年度大幅減少に引き続きやや減少。学科・プログラム別では、(経営)(80)は3年連続増加の反動で大幅減少、(経営/会計専門職プログラム)(156)は50%以上の大幅増加が目立った。
○理(116)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科・インスティテュート別では7募集単位中6募集単位が増加。特に(ナノサイエンス/物理科学)(133)、(社会数理・情報インスティテュート)(129)、(化)(128)、(ナノサイエンス/化学)(121)はいずれも大幅増加。一方で、減少した(物理科学)(96)は8人のやや減少。
○工(103)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。学科別では、6学科中4学科が増加。特に、(社会デザイン工)(117)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。(電気工)(107)、(機械工)(103)はいずれも前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。

一方で、(化学システム工)(95)は前年度大幅減少に引き続きやや減少。

- 医(医)(489)**は、前年度コロナ禍対策で入試日程を III 期(出願期間 2/15~2/24)実施とした影響で激減したが、入試日程を I 期(出願期間 1/1~1/13)実施に戻したこともあり 5 倍近い激増。ただし、2020 年度との比較では、44%の大幅減少。
- 医(看護)(105)**は、2 年連続減少の反動は小さくやや増加。
- 薬(109)**は、2 年連続大幅減少の反動に加えて、系統への人気が高まったことから増加。